

G3 のツイッター その31

烈剛河内 竹井 保満

私が住んでいる市では市制施行 50 周年記念に、ハロウィンの仮装パレードを企画し、子供たちに仮装で参加すればお菓子をあげると宣伝しています。商賈とは言え商店街の人も考えます。

ハロウィンは広辞苑によりますと、古代ケルト人が諸聖人の祝日の前夜、十月三十日に行われる祭りでスコットランド・アイルランドに起源を持つが、今では、アメリカで民間行事として定着し、秋の収穫を祝い悪霊などを追い出す意味合いがあるそうです。子供達が仮装をして家々を訪れお菓子や果物をも貰うのだそうです。貰えないと、悪戯をするぞとか、家に祟りがあるとか悪態をつくそうです。

ハロウィンで思い出すのは、1992 年 10 月ルイジアナ州で邦人が仮装して誤った家を訪ね、射殺された悲惨な出来事もありました。

日本でもハロウィンと同じ様なものがあります。中国からの伝来で、宮中の行事であったものが、民間行事に成ったそうです。関西で多く見られた、亥の子祭りと言うものがそれで、陰暦 10 月の上の亥の日に行われます。五穀豊穰に感謝し田圃を守る神様が山に帰って行くのを見送る祭りです。小学生の男の子らが大きな石に何本も縄を付け、石で土に打ち付け乍ら、亥の子の祭りを祝ってくれと、家々を回り二銭か三銭のお金を貰います。

中でも、その年に結婚をした家の前では、「亥の子の宵に、祝わん者は、鬼生め、蛇生め、角の生えた子生め」と囃し立てて、可なりのお金をもらいます。子供たちは、集まったお金で油揚げや蒟蒻等を買ひ、優しい小母さんの家をお願いして五目御飯を炊いてもらひ、日ごろは買ってもらえなかったお菓子を買って食べ、村の子供達のコミュニケーションの輪を作りました。子供の世界は、ハロウィンも亥の子の祭りも似ているように思います。この亥の子の祭りも、戦後は勉強をする子や、受験の邪魔になるとの PTA の親の意見で、このお祭りも姿を消しているそうです。

兎追いしかの山、小鮒釣りし彼の川、の様に消えてしまうのでしょう。

秋は色々とスポーツの行事が重なります。それに合わせてトレーニングを行わなくてはなりません。指導員講習会で、東海大の有賀先生に教えていただいたトレーニングの期分けの方法が多数の競技会なので、有賀式の期分けトレーニングは当てはめられません。パワーリフティングの競技を除き、陸上競技でも、ウェイトリフティングでも、年寄りの苦手な俊敏さと体の柔らかさを求められます。ですから、最近、最初はちょっと重いウェイトをかけ筋肉に刺激を与え、そのあと、軽いウェイトにして素早い動きをやります。このトレーニングが良かったのか陸上の大阪大会、近畿大会の 2 大会で男子最優秀選手に選ばれました。然し乍らこの種のトレーニングは運動量がかなり多くなり、時間が長くなることで疲労が溜まります。年寄りには疲労が中々取れず、何か良い方法は無いかと思案模索中です。

悩める G 3 に良いアドバイスを・・・